

質問	エピナスチン塩酸塩錠 10mg の簡易懸濁法での投与は可能ですか？
回答	<p>エピナスチン塩酸塩錠 10mg は、約 55℃の温湯において 5 分間で崩壊・懸濁し、8Fr.のチューブを通過しています。</p> <p>詳しくは添付のデータをご覧ください。</p> <p>この資料は本剤の懸濁状態及びチューブ通過性を検討した資料であり、臨床で経管投与した場合の有効性・安全性の評価は行っておりません。</p> <p>本剤をご使用の際には添付文書をご確認の上、医療従事者の裁量と判断のもとに行っていただきますようお願い致します。</p>
参考資料	【エピナスチン塩酸塩錠 10mg「ケミファ」】 簡易懸濁法に関する資料